

2021(令和3)年度事業報告

特定非営利活動法人市民共同発電をひろげる城陽の会事業方針

- ・公的施設及び個人宅に再生可能(自然)エネルギーによる発電事業がひろがるよう要請や啓発活動を行い、その実現を図る。また、行政支援の拡充を要請し、その実現を図る。
- ・市民共同発電所をつくり、ひろげるために屋根の提供と資金拠出できる協力者を募る。資金を集め、会計実務をする。
- ・環境問題に関する啓発事業に取り組む。

特定非営利活動にかかる事業(単位千円)

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額
再生可能エネルギーによる発電設備設置と支援、借入金返済実務	・宇治市五ヶ庄社会福祉法 と21年度再見積と京都府自立 型再エネ設備導入補助事業 適用をめざすことで合意 20kW弱+ヘムス+蓄電池セット 秋から見積もり、検討再開	10月5日 11月8日 12月14日	宇治市五ヶ庄 二番割	8名	宇治市五ヶ庄 110名	
	・個人宅太陽光発電設備、蓄 電池ゼロ円システム募集	5~11月			会員155名	
	・1~11号機設置協力金元金と 利息を拠出者に返済実施	4月~翌年 3月	城陽、京田辺 宇治	8名	城陽市近隣の 拠出者79名	振込10.5 郵送1
環境問題の啓発・持続可能なまちづくりをめざす事業 情報発信①	「2050年二酸化炭素排出実質 ゼロ」宣言を求める要望書を 城陽市長に提出 会員には行政に求めること、 自分ですること等の声募集 市の回答「適切な時期に 宣言することを検討」	6月28日 7月12日	城陽市役所	8名	城陽市 75,800名	
	「城陽市の脱炭素社会に関す るお尋ねと要望」市長に提出 市の回答 ・適切な時期に「宣言」を検討 ・再エネ、省エネへの具体的な 声・要望は共有、確認 ・2030年までの温室効果ガス 46%削減計画は具体化なし ・市役所使用電力再エネ比率 不明、より良い環境配慮検討	8月24日 10月13日	城陽市役所	8名	城陽市 75,800名	

	<ul style="list-style-type: none"> ・街灯LED化前進、雨水タンク等の補助継続 ・再エネ普及と地域の安全・安心、住民の参画を考慮したメガソーラー建設等のルールになる条例づくりの予定はなし ・市長ゼロカーボンシティ宣言 	11月27日				
環境問題の啓発・持続可能な②	<ul style="list-style-type: none"> ・講演会講師活動「これからの再エネ 卒FITを迎えて」 京田辺原発ゼロプログラム主催 	11月27日	京田辺社会福祉センター	2名	京田辺・井出 24名	
環境問題の啓発・持続可能なまちづくりをめざす事業 情報発信③	<ul style="list-style-type: none"> ・「白熱電球とLED電球の無料交換会」LED電球84個交換 白熱球99個、蛍光灯18個回収 効果は年間10万kWh節電、CO2を4.7tカット相当分節電、3.3kW太陽光発電設備3軒分と同等効果 ・ハガキ等で事前申込実施 ・コロナ対策で5グループに分け10分間学習の後、交換 	2月27日	城陽市青谷 コミセン	8名	城陽、宇治、 京都、木津川 84名	通信費33.7 印刷24.0 消耗品10.5 会場費9.9 その他44.3 地図1.2 租税0.6
情報発信④	ホームページ追加編集作業	30回	八幡市 マイコン研究会	2名	不特定	通信1.9 旅費9.5
情報発信⑤	再エネ重視新電力紹介8社紹介 卒FIT買取先会社34社紹介	7月7日 2月1日	ニュース及び HP	8名	不特定	
情報発信⑥	1号～50号他合本化 世話になった方々や市民共同 発電所運動に関心ある団体、 機関等に寄贈	年度内		8名	100団体	印刷100
会員内部 情報	・会のニュース発行他 44号、45号、46号、47号、48号 49号、50号	5/20 6/1 7/7 9/2 12/1 2/1 3/7		8名	城陽、京田辺 宇治、久御山、 木津川、八幡 京都 155名	消耗31.0 印刷15.4
書籍普及	<ul style="list-style-type: none"> ・再エネ、省エネ・節電等温暖化防止関連書籍普及 グレタの願い3冊、グレタ1人 ストライキ、石炭火力Q&A、イモが 日本を救う、脱原発のための 節電所3冊、電力自由化入門 	随時	総会、イベント、 講演会会場	8名	不特定	書籍購入7

